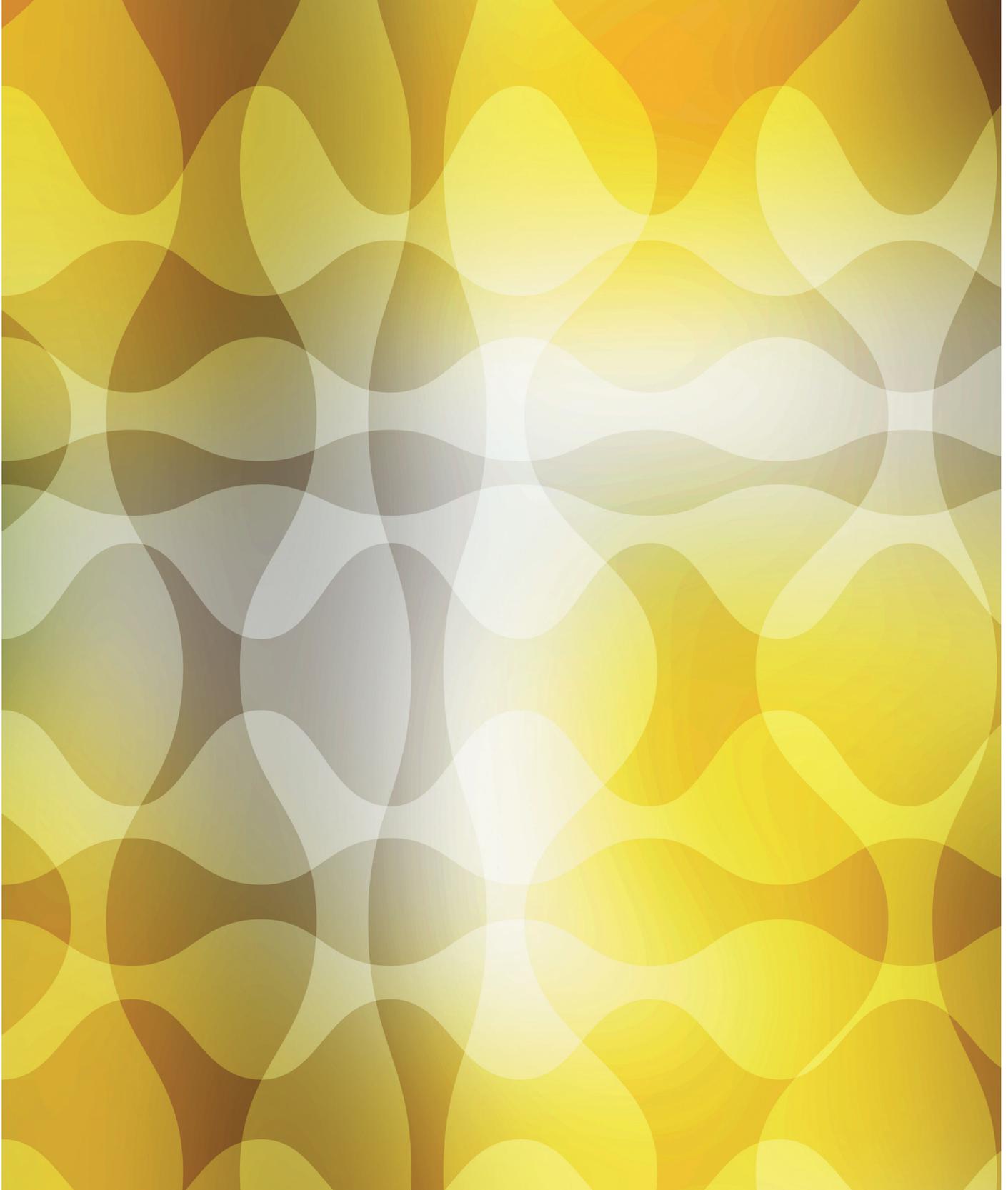


平成29年度 厚生労働科学研究費補助金事業

認知症政策研究



公益財団法人 長寿科学振興財団

認知症政策研究とは

認知症政策研究事業では、認知症の人に対する医療分野と福祉分野との連携による総合的な対策を一層推進するための実態把握、予防等の施策形成に向けた研究を行います。

- (ア) 認知症の発症に対する危険因子の提言や保護的因子の促進に関する研究
- (イ) 認知症の社会的課題の解決、特に徘徊の課題に関する研究
- (ウ) 介護者等の負担軽減、認知症の普及・啓発などを含めた、社会創生に関する研究
- (エ) 一億総活躍社会の実現に向けた認知症の予防、リハビリテーションの効果的手法を確立するための研究
- (オ) 若年性認知症の人の実態調査や大都市における認知症の実態調査に関する研究

認知症政策研究推進事業とは

当財団では、厚生労働科学研究費(認知症政策研究)の採択課題の研究を支援するため、次の事業を行っています。この公募の案内は、関係する研究者に通知するとともに財団のホームページ(<https://www.tyojyu.or.jp>)にも掲載しています。

●外国人研究者招へい事業

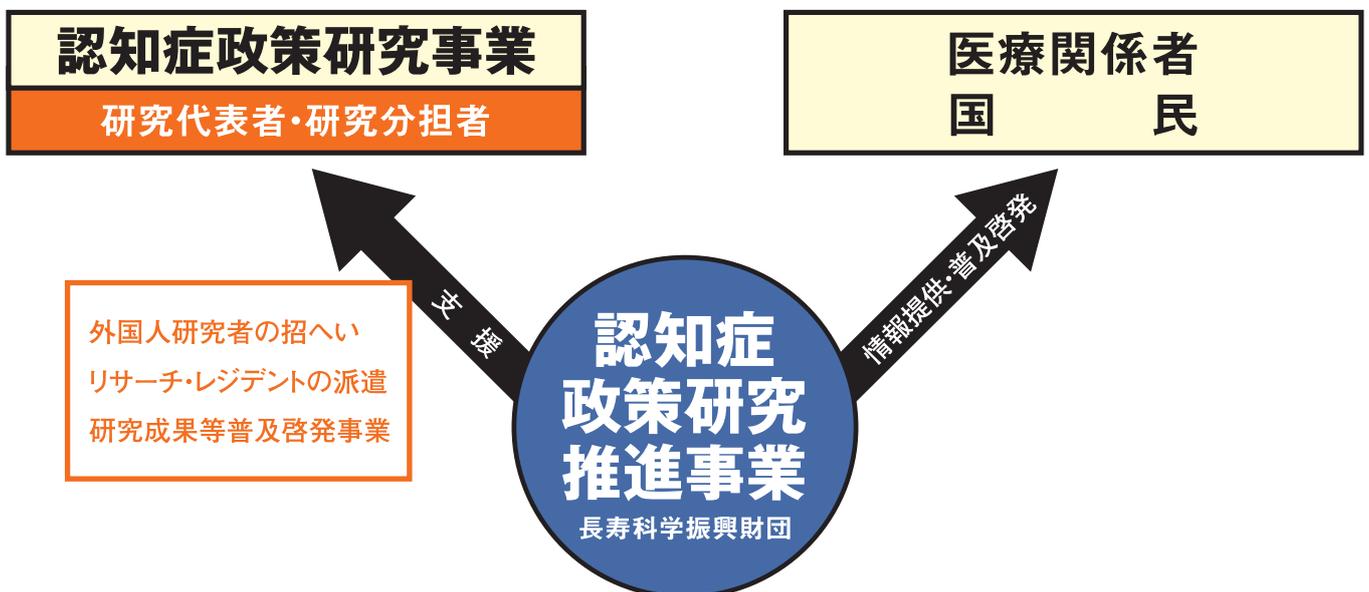
当該分野で優れた研究を行っている外国人研究者を招へいし、海外との研究協力を推進する事業。

●リサーチ・レジデント事業(若手研究者育成活用事業)

研究代表者又は研究分担者の所属する研究機関に当該研究課題に関する研究に専念する若手研究者を一定期間派遣し、当該研究の推進を図るとともに、将来の我が国の研究の中核となる人材を育成する事業。

●研究成果等普及啓発事業

当該研究の研究成果等について、関係の深い分野の専門的研究を行っている研究者や専門的な知識を持たない一般の国民を念頭に置いた発表会の開催及び当該研究事業の取組みを分かり易くしたパンフレットを作成することにより、当該研究の一層の推進と科学技術に対する国民の理解の増進、関心の喚起に資することを目的とする事業。



厚生労働科学研究費補助金による研究内容の一部を紹介します

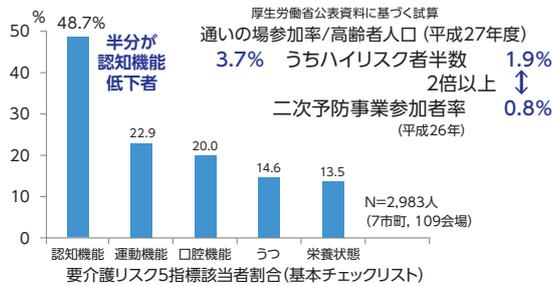
ポピュレーションアプローチによる認知症予防のための社会参加支援の地域介入研究

背景：認知症発症には社会参加など社会的要因も関連し、これに着目した地域介入研究が課題

目的：「通いの場」（サロン）参加による認知症予防効果の検証

方法：①日本老年学的評価研究（JAGES）プロジェクト参加7市町「通いの場」参加者の横断調査
②愛知県武豊町「通いの場」参加者と非参加者7年間の縦断調査

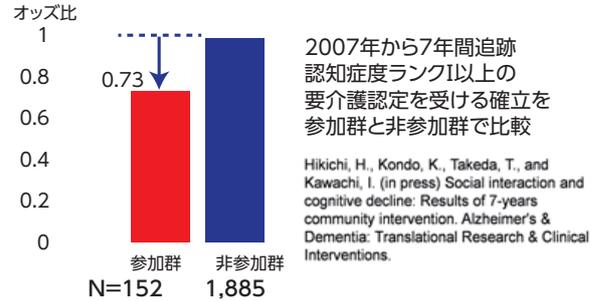
結果1 通いの場に参加するハイリスク者は二次予防事業より2倍以上多い



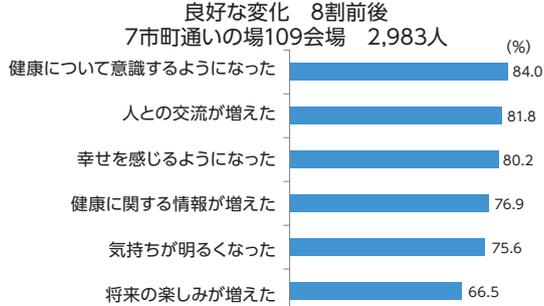
結果3 通いの場参加がきっかけで新たに運動を始めた人 5割



結果4 通いの場参加群で認知症発症3割減
認知症度I以上の要介護認定 武豊プロジェクト



結果2 通いの場参加後の心理社会的変化の割合



まとめ
・基本チェックリスト方式より多くの要介護リスク者が通いの場に参加
・通いの場参加による心理社会面の良好な変化を観察
・通いの場参加に伴う認知症発症3割抑制の効果を確認

竹田 徳則 | 星城大学 リハビリテーション学部(教授)

認知症政策研究事業 採択課題一覧

No.	研究代表者	所属機関・部局	職名	研究課題名
1	竹田 徳則	星城大学リハビリテーション学部	教授	ポピュレーションアプローチによる認知症予防のための社会参加支援の地域介入研究
2	櫻井 孝	国立長寿医療研究センターもの忘れセンター	センター長	前向きコホート調査に基づく認知症高齢者の徘徊に関する研究
3	尾島 俊之	浜松医科大学医学部健康社会医学講座	教授	認知症発生リスクの減少および介護者等の負担軽減を目指した Age-Friendly Cities の創生に関する研究
4	神崎 恒一	杏林大学医学部高齢医学	教授	認知症地域包括ケア実現を目指した地域社会創生のための研究
5	岡村 仁	広島大学大学院医歯保健学研究科	教授	一億総活躍社会の実現に向けた認知症の予防、リハビリテーションの効果的手法を確立するための研究
6	島田 裕之	国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学センター予防老年学研究部	部長	認知症の予防と認知症者のリハビリテーションのガイドライン作成
7	栗田 圭一	東京都健康長寿医療センター研究所	研究部長	若年性認知症の人の生活実態調査と大都市における認知症の有病率及び生活実態調査

公益財団法人 長寿科学振興財団とは

本財団は、国立長寿医療研究センターの設置とともに、国の「高齢者保健福祉推進十か年戦略」の重要な柱として位置付けられ、各界からの幅広いご支援のもとに、我が国の長寿科学研究を側面から支援する財団として、平成元年12月に設立されました。

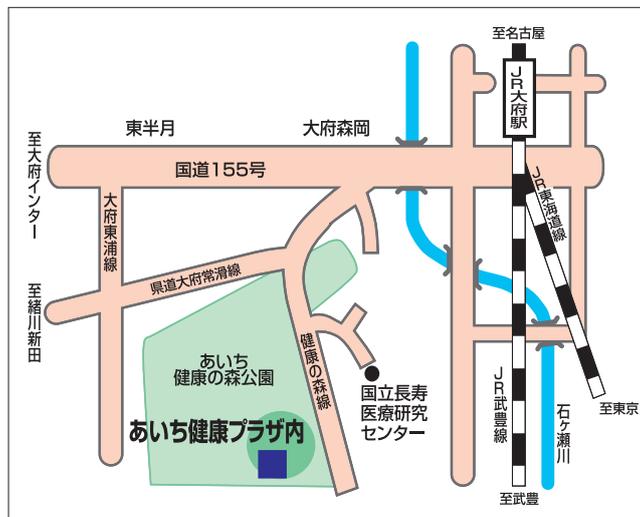
本財団には、昭和天皇の一周年祭にあたり、天皇陛下・皇太后陛下から、長寿科学研究推進に資する思し召しにより、昭和天皇の御遺産から、更に平成13年4月には、香淳皇后の御遺産から御下賜金が賜与されました。

世界一の長寿国である我が国において、長寿科学研究の振興は、極めて重要な事業であることから、厚生労働科学研究の各種推進事業の遂行に努力し、これからも『明るく活力ある長寿社会』の構築に、貢献して参ります。



公益財団法人 長寿科学振興財団

<https://www.tyojyu.or.jp>



公益財団法人 長寿科学振興財団

〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山1番地1

あいち健康の森 健康科学総合センター4階

TEL.0562-84-5411 FAX.0562-84-5414

E-mail:soumu@tyojyu.or.jp